

令和6年 5月 30日

長野県知事 様

令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和6年度から令和7年度	
会社名	共和興業 株式会社	
住所	〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧766-1	
代表者名	代表取締役 江本 寿東	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	穂高中間処理場	安曇野市穂高牧766-1
	松本中間処理場	松本市大字島内6931番地口の2の38
担当部署	工事部	
担当者名	宮澤 英江	
連絡先	TEL	0263-83-4511
	FAX	0263-83-8130
	電子メールアドレス	miyazawa-hanae@vega.ocn.ne.jp
ホームページアドレス	'http://www.kyowa.gr.jp	

1 産業廃棄物3R実践方針

産業廃棄物の適正処理における再資源化率向上のために分別徹底を行い、産業廃棄物の搬出抑制を行うことで、混合廃棄物ゼロに繋げ社員の意識向上に努める。現場内コンテナに廃棄物名の明示を行い、徹底して再利用、適正処理を行う。掲示板を設け産業廃棄物の種類ごとにチェック表を貼り産業廃棄物の種類ごとの減量化、適正処理の確認に取り組む。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和6年度目標値	令和5年度実績値	令和4年度実績値	令和3年度実績値
--	----------	----------	----------	----------

総搬出量の推移 (t・kg・m ³)	6 3 7	7 2 4	1, 0 8 5	5, 0 4 5
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	6 3 5	7 1 6	1, 0 6 2	4, 3 8 6
売上高の推移 (円)	206, 700, 000	314, 619, 906	206, 787, 945	292, 450, 606

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

従業員教育（研修）計画

- *産業廃棄物処理実務者研修会等への新入社員・若手社員の参加
- *産業廃棄物への知識を高める為、精通した講師を招き社員全員の講習会参加
- *産業廃棄物処理場への視察を行い、処理・利用状況の確認、取組方法など学ぶ

リサイクル促進に向けた取組

*今年も各現場に産業廃棄物 3R 取組看板を掲げ、すべての廃棄物を資源へと導くよう現場従事者に呼びかけ、徹底した分別を行う。

各廃棄物分別箱に廃棄物名を表示、処分先も工事従事者すべてにわかるよう工夫しフローチャートを表示する。

処分先処理場の処理状況確認を必ず行い、搬出した廃棄物の責任の自覚を持つ。自社処理施設（コンクリート・アスファルト）の、適正処理状況確認を随時行う。

自社処理場・リサイクル製品製造施設の見学会を設け、産業廃棄物搬出業者にも処理・リサイクル製品状況を周知する機会をつくる。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項
 - 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和 6 年度 目標値	令和 5 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和 3 年度 実績値
再生砕石	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0

再生アスファルト	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100